

高山教区・高山別院
宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 法要教化事業

御遠忌法要における 「同朋唱和」の実施について

実施計画書

2016年10月21日 現在

高山教区・高山別院 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌推進委員会
法要教化部会
高山教区教化委員会

「正信偈同朋唱和」の展開を願って（趣旨）

高山教区・高山別院宗祖親鸞聖人御遠忌推進委員会では、御遠忌法要教化の中心的な取り組みとして同朋唱和によるお勤めを推進してまいります。

「同朋唱和」とは、僧侶と門徒の隔てなく、そこにいるすべての人が声を出しお勤めをすることをいいます。お勤めは「聞く(教えを)」ということが最も大事なことです。声を出すということも、主体的に仏事の参加者になるという意味合いにおいて大切です。

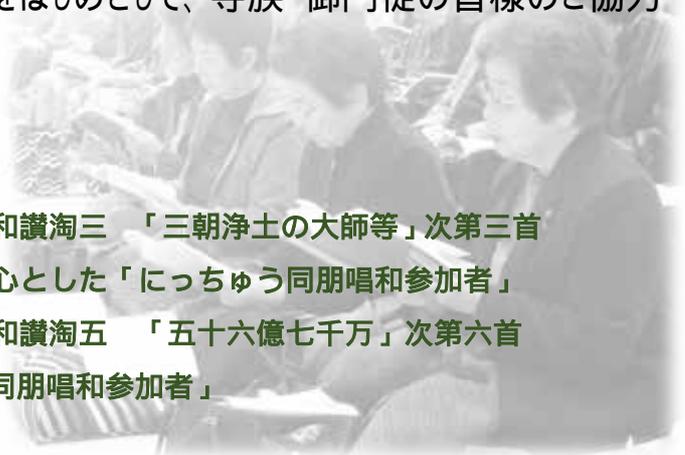
宗門の調査によると、飛騨地方はご門徒のお勤めのできる率が全国的に見て非常に高い地域ですが、これはお内仏を中心とした生活が代々伝わってきたからこそ、通夜や法事などの仏事の場においても皆でお勤めをすることが大切にされてきたのではないのでしょうか。浄土真宗の長い歴史の中で、お勤めの伝統が私たちのところまで伝えられてきたともいえます。

しかしながら近年、仏事の場で、特に若い世代からお勤めの「声」が聞かれなくなっています。このことを一つの危機ととらえ、法要教化の取り組みにおいては、お勤の響きを別院からお寺へ、また各家庭へと伝えていきたいという願いから同朋唱和でのお勤めの座が設けられることとなりました。

このたびの御遠忌法要では、宗門を担う「組門徒会員」の方や、次の世代を担う方々にご参加いただき、この参加者を中心として若い世代の人たちにもお勤めを伝えていくことを目指して取り組んで参ります。この御遠忌を縁とし、各寺院においても、さらには家庭においても、世代を超えて正信偈・念仏・和讃のお勤めができるような環境を作りたいと思いますので、各寺御住職をはじめとして、寺族・御門徒の皆様のご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

【法要内容・対象】

初日中 内容 正信偈 草四句目下 念仏和讃淘三 「三朝浄土の大師等」次第三首
対象 「組門徒会員」の方々を中心とした「にっちゅう同朋唱和参加者」
大遠夜 内容 正信偈 真四句目下 念仏和讃淘五 「五十六億七千万」次第六首
対象 各寺代表の「おたいや同朋唱和参加者」



「につちゅう同朋唱和参加者」 初日中法要での同朋唱和の練習

- 法要日時 2019(平成31)年5月11日(土) 午前10時から正午まで
時間は変動する可能性あり。
- 勤行内容 正信偈草四句目下・念仏和讃淘三「三朝浄土の大師等」次第三首
登高座後の添え勤めとして。
- 勤行本 『正信偈同朋唱和集』(御遠忌記念出版)
参加者には懇志記念品とは別に無料で進呈。

参加対象

組門徒会員参加者

- 2 今期(2018年3月31日期限)の方には参加を促し、希望により参加いただく。
- 2 次期(2018年4月1日から3年)の方にはご参加いただくようお願いする。
- 2 組門徒会員の方には、今年度は、まず趣旨の伝達およびお願いを中心に取り組み。
2017年度より練習を始める。

一般門徒参加者(一般募集)

- 2 組門徒会員以外の高山教区在住の御門徒で、希望される方に参加いただく。
- 2 一般門徒参加者の募集は、2017年度より行う。

参加人数 200～300人

お勤めの練習 各組組門徒会研修会で実施。

- 2 各組で毎年実施される組門徒会研修(門徒研修小委員会)の内容として、「同朋唱和」への理解を深めることと、練習に取り組む(各組門徒会で実施)。
- 2 組門徒会研修での練習の場は年1回開催であるが、最終年度については必要に応じて回数を増やす。
- 2 一般門徒参加者の練習は、各組門徒会研修として実施される練習の場に参加。
- 2 講師の派遣については実行委員会及び世話役で調整。
- 2 同朋唱和練習のための組門徒会研修会開催については、各組世話役とご相談のうえ実施ください。

「おたいや同朋唱和参加者」 結願速夜法要での同朋唱和の練習

- 法要日時 2019(平成31)年5月11日(土) 午後2時から4時まで
時間は変動する可能性もあり。
- 勤行内容 正信偈真四句目下・五淘「五十六億七千万」次第六首
- 勤行本 『同朋唱和勤行集』(緑本・東本願寺出版発行)
参加者には無料で進呈。
- 参加対象 各寺院が推薦した門徒 一カ寺あたり2～5人
各寺院において次世代を担っていただくことが期待される方。
各寺院で選出いただき2017年1月15日までにご報告いただきます。
- 参加人数 150人程度

お勤めの練習 各組を中心に実施。

- 2 各組での練習の実施については、下記の点にご留意の上、組内の事情に即した方法で実施。これについては、各組の御遠忌同朋唱和世話役とご相談いただき実施ください。
- 2 3ヶ年度内（2017年2月～2019年4月）で計12回の練習を実施。
- 2 12回のうち3回（年1回）を全体会として別院で開催。残り9回を各組で練習。
- 2 組での実施の9回のうち3回は講師派遣を行い、6回はDVDを活用した練習とすることを基本。（各年度の開催回数は、各組任意）
- 2 今年度第1回目の全体集会を2月中に別院で開催。

講師の派遣

- 2 講師の派遣については実行委員会及び世話役で調整。
- 2 各組には、謝礼に会場費等を含めた程度の助成を行う。

寺族・各団体を対象とした「同朋唱和研修」の実施について

寺族の練習について

- 2 各組「声明儀式作法研修会」を、同朋唱和の練習の場として開催。

各団体について

- 2 各団体（坊守会・真宗同朋会・大谷婦人会 他）に積極的に参加いただくよう呼びかけ。

御遠忌同朋唱和推進にあたって

御遠忌同朋唱和实施体制（御遠忌推進委員会規則 第9条 実行委員）

- 2 「御遠忌同朋唱和实施委員」を置く
御遠忌委員会法要教化部会、教区教化委員会（寺族研修・門徒研修）、御遠忌式支配、列座から実行委員を選出、「御遠忌同朋唱和实施委員」を置き実働体制をとる。
<御遠忌同朋唱和世話役の設置>
また、各組及び各組門徒会で行われる同朋唱和の練習を円滑に行うため、御遠忌同朋唱和世話役（実行委員として）を設置。

帰敬式受式の奨励

- 2 同朋唱和の練習の会で受式を呼びかけ。

肩衣着用の奨励

- 2 法要及び練習には肩衣をご着用いただくことを奨励。

同朋唱和に関する公開学習会の開催について

- 2 『同朋唱和の歴史と意義』をテーマに、1月中に公開講座として開催予定。
- 2 主催：教化委員会寺族研修小委員会